

令和2年度 第2回総合教育会議

日 時 令和3年3月30日（火）午後4時00分～午後4時55分
場 所 小金井市役所第二庁舎8階 801会議室
出席者 9人

総合教育会議構成員

市長	西岡 真一郎
教育長	大熊 雅士
教育長職務代理者	福元 弘和
教育委員	岡村 理栄子
教育委員	浅野 智彦
教育委員	小山田 佳代

関係者

生涯学習部長	藤本 裕
庶務課長	鈴木 功
庶務課係長	中島 憲彦

事務局

企画財政部長	天野 建司
企画政策課長	梅原 啓太郎
企画政策課係長	古賀 誠
企画政策課主事	鎌田 莉央

傍聴者 0人

（午後4時00分開会）

◎西岡市長 皆様、こんにちは。定刻となりましたので、ただいまから令和2年度第2回総合教育会議を開催させていただきます。

本日はお忙しい中、総合教育会議に御出席賜り、ありがとうございます。

進行につきましては、会議の主宰であります私が務めさせていただきますので、よろしくお願いたします。

本日は、令和2年度の総括や、来年度の展望など、小金井市の教育について委員の皆様から忌憚のない御意見を賜りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、早速次第に沿って議事を進めてまいります。

初めに、項番1「新型コロナウイルス感染症に係る対応について」を議題とします。

それでは、まず初めに小金井市の新型コロナウイルス感染症に係るこれまでの市の主な対応に関し、総括的な御説明をさせていただきます。

まずはこの一年間、小金井教育委員会並びに学校教育関係者、社会教育関係の皆様方を含め、新型コロナウイルス感染拡大防止に皆様方とともに力を合わせて取り組んでまいりました。今を生きる私たちが初めて経験するパンデミックということで、本当に様々なことがありました。学校関係者の皆様方におかれましては、何よりも学校における感染予防に最大限努めていただきながら、子どもたちの学びを止めないようということに重きを置き、御尽力いただいたところでもあります。教職員の方々、学校スタッフの方々、地域の方々を含め、子どもたちのために御尽力いただいたすべての関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。引き続きこの戦いは続いております。これからも命と健康、地域の医療提供体制を守るための感染症対策、そして様々な影響を受けている市民や事業者の皆様方を支えるための施策の展開を継続的に中断なく実施していく決意でありますので、どうぞよろしく申し上げます。

本日は資料として、小金井市新型コロナウイルス感染症緊急対応方針第3弾から第5弾までをお配りさせていただいているので、御参照いただければと思います。

前回の総合教育会議でもお伝えしたとおり、本市では緊急対応方針を示し、「いのちを守る」「暮らしを守る」「地域を守る」「市民サービスの基盤を守る」という視点で、対応に取り組んでまいりました。

令和2年4月24日には第1弾を、5月19日には第2弾をお示しし、その後も8月11日には第3弾、11月20日には第4弾、そして令和3年2月22日には第5弾を作成しました。市議会の皆様方に御議決いただいた予算を速やかに執行しながら、様々な施策を引き続き継続的に展開しているところであります。

また、令和3年1月20日付けで組織改正を行い、福祉保健部に新型コロナウイルス感染症対策担当を設置いたしました。現在は2名の担当課長と福祉保健部からの応援も入って8名体制で連日のように医師会の皆様方と協議をしながらワクチン接種の準備に全力を挙げているところであります。また、3月1日からは新型コロナウイルスワクチン接種に向けたコールセンターを設置いたしました。3月10日には小金井市保健センターにおきまして、新型コロナワクチン集団接種会場の第1回目のシミュレーションを実施しました。4月になりますと、2回目のシミュレーションを実施する予定です。

現在、ワクチン接種を希望する市民の皆様が安心して接種できるように作業を進めているところです。なお、ワクチン接種に当たっては、接種会場として公民館緑分館を高齢者フェーズの部分では活用させていただく方向で準備を進めております。また、今後は学校の施設を、特に小学校の体育館などをお借りすることも検討している段階ですので、どうか御理解をいただきたいと思っておりますし、早い段階から学校関係者の皆様方とは協議をできるように丁寧な情報共有しながら準備を進めていきたいと考えておりますので、御理解御協力をお願いします。

ワクチン接種は小金井市の最優先事業に位置づけました。この感染症対策の切り札であり、

私はこのコロナ禍を何としても収束させるためには唯一の光明であると思っており、このワクチン接種をしっかりと遂行していくことが何よりも寛容と考えておりますので、どうか御理解のほどをよろしくお願いします。

また、現在の状況でございますが、新型コロナウイルスに関係いたしましては、皆様御承知のように2度目の緊急事態宣言は解除されたものの、現在未だなお感染拡大の傾向であります。リバウンドの兆しが見えてきている厳しい、予断を許さない状況であります。現在、東京都におかれましては、リバウンド防止期間と位置づけ、4月21日まで時短要請であったり、イベント開催などの制限が引き続き行われている状況でありまして、小金井市といたしましても、本日、小金井市の新型インフルエンザ等対策本部部会を開催いたしまして、4月21日までの間、集会施設などにおける小金井市としての方向性につきましても、決定をさせていただいたところであり、引き続き一定の制限をお願いすることになります。これもまた命と健康を守るための判断でありますので、どうか御理解をいただきたいと思っております。私としましても速やかに情報発信をさせていただきまして、市民の皆様方にお伝えしてまいりたいと思っております。小金井市では市内公立小中学校の卒業式を行いました。2年連続で来賓をお招きしての開催はできませんでしたので、私からもメッセージをお送りさせていただきました。晴れの舞台を直接見届けることができなかったのは非常に残念であります。教育長からは小中学校全校で卒業式が無事に行われて、子どもたちは新しい舞台に旅立っていきましたという報告を受けましたので、安心したところです。また、引き続き入学式につきましても今後卒業式と同様の対応をとることになっておりますので、無事に入学式が行われ、新年度がスタートできるようにと思っておりますので、教育委員会の皆様方もよろしく申し上げます。いずれにいたしましても、一年間にわたりまして極度の緊張状態が継続している状況ですが、私どもも日々健康管理に気をつけ、感染予防にも気をつけながら、小金井市としてのなすべきことをやり遂げていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは大熊教育長からコロナに係わる件などを踏まえまして、冒頭御発言いただきたいと思っております。

◎大熊教育長 小金井市教育委員会といたしましては、コロナ蔓延が報道されるようになってから、すぐに小金井市医師会との連携を進めていて、学校のいろんなところに貼ってあるポスターを作ったのが一番初めの取組であったと思ひ起されます。それからもう一年が経ちました。そして、突然の休校要請があったときも小金井市医師会の先生方と相談して、休校を決めたときのあのつらさは、今でも忘れることができません。子どもたちにとって本当につらい決断をしなければならなかったわけです。その後、校長会をZ o o mを使って遠隔で行うなど、常に情報を共有しながら様々な政策を進めていきました。そのころからI C Tを活用するということが少しずつできるようになってきたというふうに思います。各担任も校長先生が自ら遠隔で校長会に出席しているわけですから、自分たちも一生懸命子どもたちとつながることを努力していただきました。全体的には紙の課題を配るということを中心にやってきたわけですが、そ

の中で何人かの先生方はその遠隔でつながるということを模索していただき、成果も上げてきたところだというふうに考えます。そして、学校が再開されると、それは本当に各学校大変な思いをしました。感染予防対策をどのように行うかということも国や都から様々な情報が寄せられるんですけど、実際にそれをどのように行ったらいいかというのは各学校の工夫によるものでしたので、各学校の先生方の知恵を出し合って様々な施策で子どもたちを感染から守るということに全力を尽くしてきたというふうに考えます。おかげさまで、各学校でクラスターが発生していないのは、そういう先生方、子どもたちの努力の結果だと思っております。それだけではなく、大勢が集まる学校行事等はほとんどが同じ形でできることはなく、修学旅行も相次いで中止になりました。しかし、各学校で様々な工夫をして、学年ごとの運動会であるとか開催していただきました。私は校庭の外からですが、子どもたちが頑張る姿を見させていただいたという形です。

先日の卒業式も小中学校に行ってみりました。今は小学校も中学校も遠隔で教室で卒業式の様子を見られるようになっており、最後の卒業生の言葉にとてもすばらしい言葉があったので紹介させていただきます。みんなで声をかけるのではなく、一人がマイクに向かって話す内容でした。コロナ禍で大変だったけど、改めて友達の大切さを実感することができた。みんなで学ぶことは本当に楽しいであることも実感できた。さらに、意見の食い違いがあることが、新しいことを学ぶ上で本当に大切であるということを感じた等々、このコロナ禍であってもその状況を子どもたち一人ひとりが前向きに受け止め、子どもたちなりに成長した様子を卒業生として語っていただいたことは本当にうれしかったということです。本当に子どもたちにとって大変つらい時期ではあったと思うんですが、その中でこのような学びがあったことを誇りに思います。このようなことは、子どもたちだけでできたわけではなく、陰で先生方が支えてくれたからであり、今回の映像配信に関しては、地域の人のもすごい御支援をいただいたところです。

先ほど市長からお話がありました。コロナウイルス感染症対策の一環として、ワクチン接種を行うということに関して、2月の校長会で全ての学校が活用できるように準備をしてほしいという依頼をし、今は2校が実際に接種会場として選ばれ、今準備を進めているところであります。今後のワクチン接種の進捗状況を踏まえて、教育委員会としては接種会場としていつでも提供するという形で取り組んでまいりたいと思っておりますので、ありとあらゆる場所で相談いただいて、学校関係者の了解を得ながら、一日も早くワクチン接種ができるように全力で取り組んでまいりたいと思っておりますので、躊躇することなく声をかけていただければ、学校と調整して会場の提供をしてみたいと考えております。

それができるのも小学校の屋内運動場には全部エアコンが設置してありますので、それから中学校は今年度設置できるという状況になっております。接種会場としてどこでも使えるという形になっておりますので、その点は市長部局の皆さんにも御理解をいただきながら進めてきた冷暖房の設備がこういうところに役立つということは、本当に良かったなあ実感している

ところであります。

◎**西岡市長** 教育長ありがとうございました。教育長から話がありましたように、私もいろんな思いを込めて卒業式にメッセージを発信させていただきました。コロナ禍によって改めて認識できた大切な人とのつながりやかかわり、支え合いも大切ですし、そういったことをこの一年で実感できたことは大切なことだと思っておりますし、ここで経験したことを踏まえて、さらに成長していただいて頑張りたいと思います。

新型コロナウイルス感染症につきましては、今後世界的にどのようなようになっていくか、見通しが立たない状況です。この難局を乗り切り、より良い未来の小金井市を創っていくために、教育委員の皆さまにも御意見を伺いながら、適切に対応してまいります。

引き続き、教育委員会とも情報を共有しながら、協力して対応してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、項番2「教育委員会事業に係る令和2年度総括及び令和3年度展望について」を議題とします。

教育委員会から説明を求めます。

◎**大熊教育長** それでは、学校教育部、生涯学習部から順次いくつかの項目に絞って御説明申し上げます。

◎**鈴木庶務課長** それでは、学校教育部の事業について、令和2年度の総括と令和3年度の展望をまとめて3点申し上げます。

1点目「学校施設長寿命化計画について」でございます。令和2年度につきましては、学校施設長寿命化計画（個別施設計画）の策定に向け、小学6年生の保護者及び中学2年生の保護者の方に対してアンケートを行い、学校施設に望むことの把握を行いました。また、令和元年度より行っておりました、各校の校舎や屋内運動場など棟ごとの老朽化状況の把握について、調査結果を建物情報一覧としてまとめて一元管理できる状況としております。

これらの情報や今後の児童・生徒数の変化などを踏まえて庁内検討を行い、学校施設の目指すべき姿やコスト見通しなどを示した計画案を作成したのち、パブリックコメントの実施を経て、今後の学校施設の在り方や老朽化の解消を行う上での軸となる、学校施設長寿命化計画を策定させていただきました。

実質的な計画のスタートとしては、令和4年度以降となるものの、令和3年度においては、上位計画である公共施設等総合管理計画に掲げる基本目標「将来の人口動向に合わせた公共施設等の総量抑制」と「将来更新費用及び維持管理費の縮減」を踏まえ、地域コミュニティの拠点としての学校施設の在り方、建替えや長寿命化を検討・推進していくこととなります。

2点目「GIGAスクール構想について」でございます。令和2年度につきましては、児童・生徒1人1台のICT機器を整備し、学校の各教室を結ぶ通信環境をより強化・高速化するための教育用ネットワークの構築が令和2年12月に完了し、各学校でICT機器を活用した授業を行っているところでございます。

また、保護者等への周知として、令和2年10月に小金井市GIGAスクール構想説明会を小金井第二中学校において実施するとともに、説明会の内容を動画配信サイトに掲載を行ったところです。

さらには、教員研修を令和3年1月と昨日及び本日実施し、ICT機器の活用等における教員のスキル向上に努めているところでございます。

令和3年度につきましては、引き続き各研修の機会をとらえてICT機器を活用した研修を継続していくとともに、セキュリティに関する研修を行っていきたいと考えています。

これらの取組をとおして、知識獲得・準備の時間を効率化し、熟考・対話・体験活動の充実を図ってまいります。

3点目「いじめ防止等の対策について」でございます。

令和2年度につきましては、令和元年度からいじめ防止条例検討委員会で御検討いただいた小金井市いじめ防止対策推進条例が、令和2年第4回市議会定例会において、御議決をいただき、小金井市いじめ防止対策推進条例が制定されたところでございます。

条例の前文では、「未来を担う子どもたちに関わる全ての人々がそれぞれの責務を果たし、お互いに協力し合うことで、子どもたちが心豊かで安全・安心に生きることができるまちをつくること、また、人権を尊重し合う温かい人間関係を築き、夢と希望をもって健やかに育つことができる社会を実現するためにこの条例を制定する」としており、条例の制定に基づき、市のいじめ防止等の更なる取組の充実を行うことで、条例の目的の実現を図っていきたいと考えているところでございます。

令和3年度は、この取組の充実として、条例に基づき、小金井市いじめ問題対策連絡協議会、小金井市教育委員会いじめ問題対策委員会等を設置し、関係機関との連携強化、市のいじめ防止等の対策の推進を図ってまいります。

また、条例制定に基づき、市のいじめ基本方針、各学校のいじめ基本方針の見直しを行ってまいります。

学校教育部につきましては以上でございます。

◎**藤本生涯学習部長** それでは、生涯学習部の事業について、令和2年度の総括と、令和3年度の展望をまとめて4点申し上げます。

1点目「社会教育関係施設個別施設計画について」でございます。

過去に建設された公共施設等が、これから大量かつ一斉に大規模改修や建替えなどを迎えることになり、厳しい財政状況の中、いかに公共施設等の更新を行っていくかは、本市のみならず、全国的な課題です。

このことから、公共施設等の全体を把握し、長期的視点に立って公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うため、「公共施設等総合管理計画」を平成29年3月に企画財政部において策定しており、そして今年度に、この総合管理計画に基づき、個別の施設ごとの具体的な対応方針を定めることを目的とした「個別施設計画」を、公民館や図書館、清里山荘、スポーツ施

設といった社会教育関係施設について生涯学習課が中心となって策定しました。

この計画については、各施設を引き続き使用し、更新していくことを前提としたものとしており、予防保全型の維持管理を導入し、計画的な改修を行うことで長寿命化を図り、施設の更新を80年まで延伸し、建物を長く活用することで財政負担の平準化を目指したものです。

なお、市長部局所管の個別施設計画については、企画政策課が同様に今年度策定しており、来年度においては、公共施設等総合管理計画の改定作業がありますので、将来の人口動向に合わせた公共施設等の総量抑制と、将来更新費用及び維持管理費の縮減に努めることを基本的な考えとし、関係部局と連携を図り、将来の施設の在り方を検討してまいります。

2点目「オリンピック・パラリンピック東京2020大会について」でございます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から1年延期となり、そのため、令和2年度につきましては、組織委員会から示されるガイドライン等を参考に、関係機関と調整しつつ、コロナ対策を盛り込んだ運営方法の見直しを検討してまいりました。また、先日3月14日にはフェンシング競技で市内在住の吉田健人選手（警視庁所属）が代表に選考されるという嬉しいニュースが入っており、既に女子マラソンの代表に内定されている鈴木亜由子選手とともに、小金井市ゆかりの選手として、市を挙げて応援したいと考えています。

令和3年度についてです。聖火リレーが既に3月25日に福島県をスタートしており、7月14日水曜日には小金井市で聖火リレーが行われます。また、7月24日土曜日に自転車競技ロードレース男子が、25日日曜日に自転車競技ロードレース女子が開催されます。

いずれも多くスタッフが必要であり、安全に大会を運営するためにもボランティアの方々及び市職員の方々の御協力が欠かせません。全庁一丸となって取り組んでいきますので、市長部局におかれましても御協力をお願いします。

このほか、パラリンピック聖火リレー採火式・聖火ビジット、パブリックビューイング、オリンピック・パラリンピック報告会などを予定しているところです。

今後も、関係機関と連絡を取り合い、熱中症対策及び新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、市民に安心して楽しんでいただける、思い出に残る大会を目指してまいります。

3点目「図書館について」でございます。

令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため図書館でも「新しい生活様式」の実践として12月1日から電子書籍の貸し出しを開始いたしました。

電子書籍は、図書館の利用カードをお持ちであれば、図書館HPから「電子図書館」にログインすることで利用ができます。インターネット環境があれば24時間いつでもどこでも貸出や予約などができるため、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下においても「非来館者サービス」として、図書館サービスの低下を防ぐ効果が期待できます。

今まで図書館の開館時間帯に来館することが難しかった方や、コンテンツのなかには、文字の読み上げや拡大等の読書サポート機能を備えている電子書籍もありますので、視覚に障がいのある方にも利用し易い資料となっていることから、新たな利用者層の獲得も期待できるとこ

ろです。

電子書籍の中には、利用できる年数が限られている資料もありますので、令和3年度においては、さらに電子書籍1,000コンテンツ分の予算措置をいたしました。魅力ある電子書籍を御提供できるように、今後も務めて参ります。

また、利用者のサービス向上を図るため、図書館本館の開館時間について、延長の検討も進めてまいります。

最後に4点目「公民館について」でございます。

令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、公民館主催事業の一部については中止せざるを得ない状況となりました。

感染拡大に伴い公民館利用団体の活動の場となる各室の定員等に制限を設けましたが、多くの団体がそれぞれ創意工夫により感染拡大防止対策を図り、今ではそれが日常として定着していると感じています。

また、公民館3館（本館、貫井北分館、貫井南分館）においては、コロナ禍における特別主催事業を実施し、生徒・学生等の居場所として提供し学習等に活用いただいています。

現在、国の非常事態宣言が解除されたところですが、これからも感染の状況を注視し、何よりも市民の安全を第一に考え、感染防止対策を図り段階的に制限を緩和のうえ、通常の運営ができるよう目指していく考えです。

令和3年度においては、令和2年度末に策定した、公民館の当面の課題への対応及び公民館の将来像の実現に向けた「小金井市公民館中長期計画」に基づき、その内容の具体化に向けて取り組んでまいります。

また、学習様式の多様化への対応として、公民館にW i F i環境を整備していくとともに、コロナ禍においても学びの場の環境を継続できるよう、別室で主催講座を視聴講するための撮影機材等を整備していきます。

生涯学習部につきましては以上でございます。

◎西岡市長 ありがとうございます。令和2年度の極めて重要な取組や今後の方針などについて御報告いただきまして、皆様方と共有をさせていただきました。

それでは、ただいまの令和2年度総括及び令和3年度展望について、委員の皆様方から御意見や御感想があればお聞かせください。

◎福元教育長職務代理者 学校施設の長寿命化計画の報告がありましたが、公共施設のうち、約6割が学校施設、約1割が社会教育施設が占めており、施設の更新の在り方については、非常に重要な課題であると考えています。

学校施設については、大規模災害時に地域の皆様の避難所として使用される体育館等のトイレ整備についても、学校施設長寿命化計画との整合を図りながら、実施されることをお願いしたいと思います。

社会教育関係施設については、人生100年時代を迎えるにあたって、市民一人一人が、小

金井市で生き生きと暮らしていくことができるような、そんな在り方を考えていくべきだと考えています。

是非とも、市長部局としっかりと連携を図ることができるような体制でお願いします。

◎西岡市長 ありがとうございます。大変貴重な御意見をいただきました。公共施設の今後のあり方というのは非常に重要であります。学校トイレの整備につきましては、洋式化の整備率について様々な御指摘をいただき、令和3年度の予算にはこれまでの計画を前倒しし、教育委員会からの予算要望を重く受け止め、50%を超えていく整備率を達成できる予算措置をさせていただきました。その中で御指摘のありました避難所となる体育館につきましても、洋式化の整備をこれまで以上に促進していく計画となっておりますので、努力をしてみたいと思います。

この件について、教育長から何かございますでしょうか。

◎大熊教育長 このトイレの改修については、今年度末にできあがった長寿命化計画をもって、しっかりと計画していこうということを考えておりました。しかし、様々な御意見をいただいて、さらに進めるということにしたので、体育館のトイレを洋式化するという決断をしたわけです。避難所となるところで、お年寄りが活用するときに、やはり洋式のトイレの方が利用しやすいだろうということを考えて、今回の決断に至ったところです。今後は長寿命化計画をしっかりと踏まえて、段階的にトイレの改修を進めていきたいと考えているところです。

◎西岡市長 他にございますでしょうか。

◎浅野委員 私からは2点申し上げたいと思います。

1点目は、GIGAスクール構想についてです。今年度、児童・生徒1人1台のICT機器の整備、それから教育用ネットワークの構築が完了しました。伝え聞くとところでは、全国の数ある自治体の中でもトップクラスの速さであったというふうに伺っております。市長部局、市議会の皆さんのおかげで、このような迅速な対応ができましたことを大変うれしく思っております。このことによって、日常的にICT機器を活用した授業が行われることとなります。その結果として、児童・生徒一人一人に対応した個別最適化を目指す教育、それから児童・生徒たちの学び合いを促進する協働化、これらが一層促進されるとともに、その結果として主体的、対話的で深い学び、そういったものの実現に向けて大きな一歩を踏み出したところであると認識しております。

既に各学校においてICT機器を活用した授業が行われているところですが、来年度以降の期待としましては、報告にもありましたとおり、保護者の皆様や地域の皆様の理解を深めること、それから先生方の理解が深まることがこの事業の推進のためには不可欠であり、この点、教育委員会と市、それから学校とが一緒になって取り組んでいただきたいと思います。

2点目は、いじめ防止等の対策についてであります。まず、条例の検討に長く携わっていただき、非常に良いものを作っていただいたと、いじめ防止条例検討委員会の委員の皆様には敬意を表したいというふうに思います。

今回、小金井市においても小金井市いじめ防止対策推進条例が制定され、4月から施行される運びとなりました。

ただ今の報告にもありましたとおり、条例ができた後が大切でありまして、市が条例に基づいていじめ防止等の対策の推進をしていく取組がますます一層深められていくことが大切であるというふうに思っております。そういった取組の更なる充実を図るようお願いしていきたいというふうに考えております。

◎西岡市長 大変貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。GIGAスクール構想につきましても、臨時休校という経験したことがないような厳しい状況下での子どもたちの学びの継続という大きな課題の中で、従来からコンピューターの導入については検討してまいりましたが、プログラミング教育については早い段階から取り組んできた土壌があったということもあります。かなり早い決断をしていただきました。市長部局としても、その早い決断に合わせて早期に決断したところです。また、今後、臨時休校のような状況が発生したとしても、小金井市においてはこの環境を大いに活用して、学びの継続や子ども同士の先生とのつながりに役立てていただきたいと思います。

教育長から補足等がありましたらお願いします。

◎大熊教育長 委員から御指摘があったように、いじめ防止条例ができればいいということではなくて、このいじめ防止条例の趣旨をいかに定着させていくかというのが一番大事な点でありますので、このことについて具体的に取り組んでいきたいと思っております。それと同様にコンピューターも入れればいいということではなく、これをどう活用したらいいかということについて全力で取り組んでまいりたいと思っております。いずれにしましても、今回のこのような形でGIGAスクール構想が実現できたのは教育委員会だけではなく、市長部局の熱い後押しがあったからと深く感謝する次第でございます。突然の申出にもかかわらず、それを受け止めていただいて即決で対応していただいたことは、小金井市を大きく一歩前進させたことにつながるのではないかとこのように思っているところです。それを後押ししてくれた職員が細かい情報を集めくれたことも、それを実現する大きな原動力になっていたというふうには伝えさせていただきます。今後、がんばっていききたいと思っておりますので、見守っていただければと思います。

◎西岡市長 他にございますか。

◎岡村委員 昨年来の新型コロナウイルスの感染拡大によって、東京2020大会に関しては様々な御意見があります。3月20日には、海外からの観客受入れを断念する決定もされ、今後も状況によって様々な対応、素早い対応が迫ってくると思っております。先ほど御説明いただいた「新型コロナウイルス感染症に係る対応」など、市としてよくやったださっていることは重々わかっているんですが、引き続き、市と教育委員会が連携することで、より良い大会運営ができるように御協力いただきたいと思います。

◎西岡市長 ありがとうございました。東京2020大会は1年間延期としたところであり、

様々なお声や思いは私もところにも届いております。私としては、今まで頑張ってきたアスリートの思い、開会に向けてたくさんの方々に御努力いただいた思いも大切にしていきたいと思っております。

先ほど報告がありましたように吉田健人選手という小金井市在住の新しい日本代表が誕生したという吉報がありました。新型コロナウイルスの感染状況というところでは、国、東京都、組織委員会、IOC、IPC、この5者の皆様方において、様々な総合的な判断がされるものと考えております。そういった決定を受けまして、小金井市としてもしっかりと準備を行ってまいりたいと考えております。

他にはございますか。

◎**小山田委員** 図書館の電子書籍について意見を述べさせていただきたいと思っております。電子書籍のメリットは、コロナ対策以外にも、紙の図書をそのままでは読むことが難しい方への読書支援や、24時間利用できることで開館時間に利用できない方など、新たな利用者を増やすことも期待できると思っておりますので、今後も電子図書館の拡充に向けて頑張らせていただきたいと思っております。

◎**西岡市長** 貴重な御意見等、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染拡大防止、感染予防の一環として、初めて導入した小金井電子書籍のシステムであります。都内でも、全国的にも小金井市はかなり早い段階からこの取組をスタートしました。大変好評で、とても多くの方々に御予約をいただいております。これまでどおりの紙の図書での読書ももちろん大切です。従来の図書館行政というものも大切にしながら、こういった時代の要請にも応えていく、引き続き利便性の向上に努めてまいりたいと思っております。

あとは市議会の皆様方からも蔵書の確保という点で御意見もいただいているところでありますので、教育委員会の皆様にも御努力をいただきながら一層の図書館サービスの拡充に努めてまいりたいと考えております。

以上4名の委員の皆様から様々な御意見をいただきました。お寄せいただいた御意見は、どれも非常に貴重な御意見でありまして、重く受け止めております。今後の参考にさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

今後も小金井市の更なる発展のために教育委員会の皆様と協力して取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

さて、本日は机上に「小金井しあわせプラン」と書かれたしおりを配付させていただきましたが、「小金井しあわせプラン」は第5次小金井市基本構想・前期基本計画の愛称で、本市の最上位計画となります。計画策定にあたりまして、教育委員会からは浅野委員に長期計画審議会のメンバーとして御尽力いただきまして、ありがとうございます。

この計画は新型コロナウイルスの感染拡大によりまして、当初の予定を半年ほど延期いたしました。本来であれば令和3年4月から運用していく計画と位置づけておりましたが、コロナ

に関係する議論も行っていく必要があると、市、市民、市議会、そして審議会の皆様からの意見が一致したところであり、延長させていただきました。そして、来年度の10月を目途に運用できるように作業を進めているところです。

現在、令和3年第2回定例会への議案上程に向けた作業を進めているところですが、しおりに掲載されているQRコードからこれらの資料等を御覧いただくこともできますので、是非御参照いただければと思います。

また、傍聴席にも本日の配付資料と共に「しおり」を置いておりますので、傍聴者の皆様もお持ち帰りいただければと思います。

それでは、最後に教育長から、総括をお願いします。

◎大熊教育長 明日で教育長に就任して3年目になります。最初に行った仕事は、学校敷地内全面禁煙でした。それからコロナ禍においても様々な対応を行ってきたところでもあります。そういうこともありましたけれども、この中で不祥事もあり、部局の方々にも多大なる御迷惑をおかけしてしまうことになりました。この場をお借りして、御詫びと御礼を申し上げたいと思います。この3年間にやってきたことを振り返ってみますと、次に行ったのがセクハラ防止要綱の設置、教育目標の改訂、個別支援シートによる不登校対策SSWの増員、障がいのある人もない人も共に学ぶ小金井市条例のパンフレットの策定のお手伝いなどを行わせていただきました。それから働き方改革でコンピューターを導入して出退勤管理を行うとか、先ほど説明がありましたように中学校の部活動の指導員増員や副校長SSSの導入等も行ってきました。それからコミュニティスクールが設置されることになり、今年度は新たに3校ができることになりました。先ほども話があったようにGIGAスクール構想も行いました。もう一つ大きいのは、実は東京学芸大学との連携が実は水面下で非常につながっているということです。それから本日の教育委員会定例会では、明日の小金井教育プラン等各種推進プラン等各種推進プランの策定、学校長寿命化、生涯学習課、公民館、図書館、全ての計画が立案されているところです。生涯学習課においては、オリンピック・パラリンピック、それから体育協会の健全化というところにも頑張らせていただきました。それから総合体育館の冷暖房を含む改修工事、それから放課後子どもの充実に関してもいろんなことをさせていただいて、前々日開催までこぎつけてきた学校もあります。今、コロナ禍でうまくは行っていませんけど、清里山荘の再生計画も当時は懸命にやっている一つでした。大きいのは市史編纂が完成したこと、それから花侵庵や小金井神社の文化財指定もありました。それから公民館の有料化に向けた取組、これも大きな第一歩だと思っています。図書館にしても、子ども読書推進計画であるとか、消毒の機器や電子書籍の導入等をさせていただいております。この3年間に振り返ってみたときに、様々な施策に取り組むことができたのは、これはひとえに職員の絶え間ぬ努力の結果だというふうに報告させていただきたいと思います。様々な施策を行ってきたところではありますが、これでこの施策を終わりにするのではないということです。先ほども話をさせていただきましたが、これの定着を図ることやこれから具体的な策を図っていくことも重要になってくると思います。

先ほど少し話をさせていただきましたが、東京学芸大学の更なる連携や他市に先駆けて行えるものだと思っています。ICTの共同研究や不登校支援も行う予定であります。詳細が決まりましたら、また報告をさせていただきたいと思います。本気に今年の大きな目標としては、GIGAスクール構想を踏まえた授業改革です。これは大変だと思いますが、行っていきたいなと思います。それから明日の小金井教育プランのところに書かせていただいた子どもの権利条約の定着を図るための様々な施策も、これは実は大きいことであると思っています。先ほどオリンピックのリレーの時に、子どもたちにどうするかと言ったときに、子どもたちの声を聞けという形を提案させていただいたのも、実はこの子どもの権利条約をあれだけ高々とぶち上げた結果の一つだというふうを受け取っていただいて結構だと思います。このような形で何をするかということは大筋決まってきたわけですけど、これからどのように実施するか、どのように定着を図るかという具体策にしっかり取り組んでいきたいと思っておりますが、これは小金井市教育委員会のメンバーだけで考えることはできないというふうに認識しているところです。市長部局の皆さんに多大なる御協力をいただいて初めて実現できるものと思っておりますので、今後とも更なる連携を図っていきながら、具体的な施策に打ち出していきたいと思っております。その大きな問題は、学校施設及び社会教育関係施設の長寿命化の具体案を策定するところであり、教育委員会だけでこの計画はできることではなく、市長部局と連携しながら、市民にとってより良い長寿命化の施策に取り組んでまいりたいと思います。また、これまでに取り組んできた歴史の中で、小金井市の公民館と言われるものは、それなりの歴史を持っていますが、新しい形の公民館も模索することが必要であると思っております。そのようなことも進めていきたいと思っておりますので、御協力をよろしくお願いいたします。

◎西岡市長 ありがとうございます。

日ごろから小金井市の教育行政における課題に対し真正面から取り組まれている教育委員会の皆さまには、ここで改めて感謝を申し上げますとともに、今後につきしても、引き続き皆様からのお力添えをお願い申し上げ、閉会の挨拶に代えさせていただきます。

以上で、予定した議題は全て終了いたしました。

これをもちまして、令和2年度第2回総合教育会議を終了いたします。

皆様、ありがとうございます。

(午後4時55分散会)